

教育センター通信

ほど 火床の火の心を紡ぐ

第10号（通算第49号）
平成30年2月27日
三条市小中一貫教育推進課
教育センター 発行



事務職員により主体的・積極的な校務運営への参画

小中一貫教育推進課 指導主事 熊倉 隆司

事務職員の職務規定が変わったことをご存知でしょうか。昨年、学校教育法が改正され、事務職員の職務が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」に改められました。これは、複雑化・困難化する学校の問題に対して管理職等がマネジメント機能をより発揮しやすいように、事務職員に主体的・積極的に校務運営に参画してほしいという意味が込められています。管理職や他の教職員との業務の連携・分担の下で、総務・財務等の専門職である事務職員がその専門性を一層発揮することを国は求めています。

しかし、事務職員の皆さんはこれまで主体的・積極的に仕事をされてこなかったのでしょうか。そんなことはないはずです。経験差による違いはあるでしょうが、文書の収受、財務の管理、給与・旅費の支給、手当認定や就学援助の手続き等々、各校で大いに頼りにされていることでしょう。三条市教育委員会学校事務共同実施でも、4つずつある地域学校事務室と学校事務改善室のいずれにおいても、所属の事務職員が連携協働して計画的に仕事をし、専門性や効率性を高めたり若手の育成に努めたり、また、業務改善への取組を意欲的に進めたりしています。特に、今年度からは、財務事務機能の強化を目指し、財務事務を教職員が協働で行い、学校財務の理解とより効果的な予算執行を進めるための活動も行っています。校内の“財務委員会”や“財務研修会”を事務職員が中心となって行うことで、教職員が学校財務への意識を新たにしたいという学校の例もいくつか聞いています。これは、事務職員による主体的な校務運営への参画の一つの姿と考えます。事務職員の皆さんには、指導、助言や提案を他の教職員に遠慮せずに行い、逆に、他の教職員もそれを積極的に求めてほしいと思います。

コミュニティ・スクール モデル校の取組から①

コミュニティ・スクールのモデル校である三条おおしま学園とさかえ学園の7小中学校から、初年度の取組を行っていただきました。各学校の校長先生をはじめ教職員の皆様や学校運営協議会委員の皆様の積極的な取組のおかげで、たいへん成果のあがった導入初年度となりました。

今月号と3月号において、モデル校の取組を参考にした「1年間の取組の流れ」をお示します。まずは、導入準備から第1回の学校運営協議会までの取組です。これから導入の準備をされる学校・学園はご参考にさせていただきたいと思います。

導入準備 (前年度)

学校評議員や小中一貫教育推進協議会委員など保護者や地域代表の方々と相談し、教育委員会に推薦する学校運営協議会委員（校長を含む15人以内）を選出します。

3月中に各学校の校長から委員を推薦いただき、新年度の4月に教育委員会が学校運営協議会委員として任命します。

モデル校では、現学校評議員の他、以下のような方々から委員になっていただきました。

- ・PTA会長 ・元PTA会長 ・後援会長 ・同窓会長 ・自治会長 ・民生児童委員
- ・任意の地域団体の代表 ・公民館長 ・放課後子ども教室代表 ・社会体育指導者
- ・保育園長 ・学校ボランティア ・元市役所職員 ・元学校関係者 ・消防団員



委員は、肩書や人数を優先するよりも、「学校や地域の力になりたいという思いをもった方」を選出することが望ましいです。



導入を考えている学園には、希望があれば担当が説明にうかがいます。
※写真は、「しだだの郷学園小中一貫教育推進協議会」2/14の様子です。



第1回学校 運営協議会

各学校で学校運営協議会を開催します。（5～6月頃）
初回は、次のような内容（例）について話し合います。

- ・会長、副会長、CSディレクター（事務局担当）の選出
- ・学校運営の基本方針の説明（校長）・承認
- ・学校運営協議会規約の決定
- ・1年間の取組の計画・見通し
- ・子どもたちの様子や育成について意見交換

※担当指導主事もオブザーバーとして学校運営協議会に出席します。

委員の方々に任命書を手渡し、報酬（年間3,000円）の支払いに必要な個人番号と口座の登録について説明します。



栄中学校（ワークショップ形式で）



栄北小学校（校長室で和やかに）



3月号ではCSディレクターの役割、「熟議」から「協働」につなげるまでの取組、1年間のまとめについて掲載します。

平成 29 年度 小中一貫教育に係る点検評価アンケート総括

昨年 12 月に実施しました「小中一貫教育に係る点検評価アンケート」へのご協力ありがとうございました。今回の結果から見られる市全体の様子について考察しました。

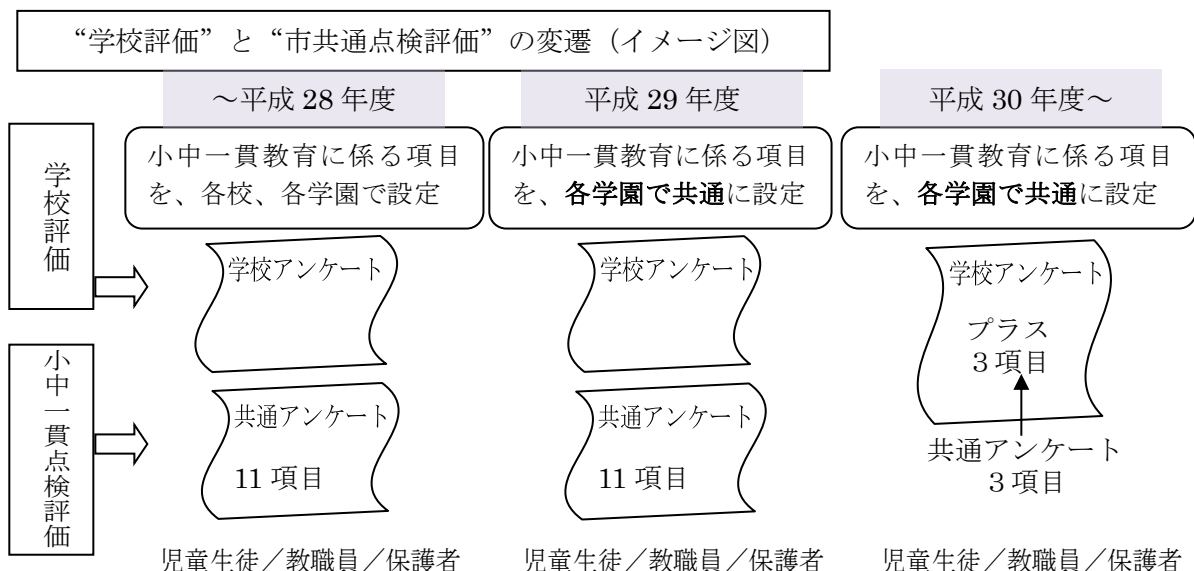
主な成果	① 小小・小中交流活動の充実により、人間関係力の育成、中学進学への不安軽減の肯定的評価が高い。また、自己有用感、自己肯定感の向上における教職員の肯定的評価が年々増加している。 ② 9年間を見とおした学習支援および9年間を見とおした生徒支援では、児童生徒の肯定的評価が高く、また、保護者の認知度も増加している。
主な課題	① 小中学校教職員の協働活動、地域との連携活動では、児童生徒の肯定的評価が5割以上から6割程度と伸び悩んでいる。 ② 児童生徒の自己有用感、自己肯定感の向上、三条市の愛着の高まりでは、児童生徒の肯定的評価が7割程度で留まっている。 ③ 9年間を見とおした生徒支援、児童生徒の将来の夢や希望の実現、児童生徒の学習意欲の向上では、保護者の認知度が低い。
改善の方向	① 小中学校教職員の協働活動、地域との連携活動 小中交流活動や乗り入れ授業、地域での活動の実施において、児童生徒、教職員、地域住民のすべてが、活動のねらいや目的を理解することにより交流の質を高め、振り返り等の事後活動の充実により活動を一層価値付けるようにする。 ② 児童生徒の自己有用感、自己肯定感の向上、三条市の愛着の高まり 三条市への愛着の高まりはもとより、自己有用感、自己肯定感についても、地域社会とのつながりの中で、一層強まると考えられる。児童生徒の地域社会での活動が充実するよう、各学校、学園の取組を支援していく。 ③ 保護者の認知度 地域に根ざした小中一貫教育が実現するよう、今年度から学園呼称を使用している。次年度も市の教育施策を保護者や地域住民に周知する方策を検討していく。

平成 30 年度から始まる新アンケート

さて、5年間継続した市共通アンケートは今回が最終回となります。平成 30 年度からは項目を3つに絞り、学校評価等に取り入れて実施していきます。

項目Ⅰ	学園内の仲間とのつながり	※安心感（小学生）、自己有用感・自己肯定感（中学生）
項目Ⅱ	つながりを意識した授業の実施	※9年間を見とおした学習支援
項目Ⅲ	地域とのつながり	※故郷への愛着

各項目において、児童生徒、教職員そして保護者からアンケートに回答していただきます。引き続きご協力をお願いいたします。なお、アンケートに用いる文言は共通となっています。



ご協力ありがとうございました！

今年度の「刃物・ものづくり教育」の足跡

今年度は4つの学習に延べ63校、125学級、児童生徒3,309人の参加がありました。「13年間生きてきて100回腕立て伏せをしたときよりも腕がすりそうになり辛かったですが、楽しかったです。」「三条の金物をつくる職人さんたちの技術や苦労を感じました。研ぐときに少し角度が違っただけで削れ方が変わるんだなと思いました。」(包丁研ぎ学習を体験した生徒から)今年度の学習が、ものづくりに対する興味・関心を高め「ものづくりのまち三条」のよさを知るきっかけとなったのであれば幸いです。

和釘づくり学習 … 小学校在学中にいずれかの学年で実施 希望する中学校も実施可

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	児童アンケート
小学校 20校・33学級・805人	5:18校 4:2校	AとIの合計→97.6% (H28年度 96.8%)

小刀学習 … 小学校在学中にいずれかの学年で実施 希望する中学校も実施可

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	児童生徒アンケート
小・中学校 26校・43学級・1,057人	5:20校 4:6校	AとIの合計→95.5% (H28年度 97.1%)

包丁研ぎ学習 … 中学校在学中にいずれかの学年で実施

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	生徒アンケート
中学校 8校・22学級・641人	5:6校 4:2校	AとIの合計→96.4% (H28年度 93.5%)

木工用工具学習 … 中学校在学中にいずれかの学年で実施

実施学校数・実施学級数・参加人数	実施報告書(教師評価)	生徒アンケート
中学校 9校・27学級・806人	5:8校 4:1校	(↓H28年度 97.4%) AとIの合計→98.2%

○学級数 ()参加人数 ■保護者も参観、体験

学校名等	和釘づくり学習	小刀学習
一ノ木戸小	5年④(104)	3年③(107)竹とんぼ
嵐南小	5年④(135)	3年⑤(157)鉛筆削り
裏館小	3年③(80)	4年③(74)竹箸
上林小	5年①(21)	4年①(26)竹箸
井栗小	3年②(43)	4年①(35)竹とんぼ
旭小	5年①(17)	3、4年①(16)竹箸
西鱈田小	5年①(38)	3年①(37)鉛筆削り 4年①(28)竹箸
月岡小	4年②(57)	3年②(61)竹箸 4年②(58)竹とんぼ
大崎小	6年③(92)	4年③(88)竹とんぼ
保内小	5年①(24)	3年①(18)竹とんぼ
大島小	5年①(15)	4年①(13)竹とんぼ
須頃小	6年①(10)	3年①(15)鉛筆削り
栄中央小	4年②(48)	3年②(43)竹とんぼ 5年①(32)竹箸
栄北小	5年①(19)	4年①(20)竹とんぼ
大面小	5年①(29)	3年①(29)竹箸
長沢小	5年①(21)	3年①(23)竹とんぼ 4年①(18)竹箸
笹岡小	5年①(12)	6年①(9)竹とんぼ
大浦小	5年①(8)	3、4年②(19) 竹とんぼ(合同実施)
森町小	5年①(16)	3、4年②(28) 竹とんぼ(合同実施)
飯田小	5年①(16)	4年①(17)竹箸
ふれあいR		小(2)中(2)竹箸
第三中		1年③(82)竹箸
小中学校計	33学級・805人	43学級・1,057人

◆実施報告書(教師評価)

- 5: 子どもにとってもよい学習
- 4: 子どもにとってよい学習
- 3: どちらともいえない
- 2: もう少し工夫を
- 1: 内容の改善が必要

◆児童・生徒アンケート

- A: とても楽しかった
- I: 楽しかった
- ウ: どちらともいえない
- エ: あまり楽しくなかった
- オ: 楽しくなかった

学校名	包丁研ぎ学習	木工用工具学習
第一中		1年⑤(146)
第二中	1年③(105)	1年③(105)
第三中	2年③(88)	1年③(84)
第四中	3年③(88)	1年③(78)
本成寺中	2年③(82)	1年③(105)
大崎中	2年③(86)	1年③(81)
大島中	2年①(26)	1年①(29)
栄中	1年③(87)	1年③(93)
下田中	1年③(79)	1年③(85)
中学校計	22学級・641人	27学級・806人

